

令和2年度 事業報告

概要

本財団は、昭和44年（1969）の設立以来、事業目的である京都市域の文化観光資源の保護を図り、保護思想の普及に努め、京都市の文化観光の発展と文化的向上に取り組んできた。

当年度は、令和2年当初頃より新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、四大行事をはじめとする多くの伝統行事、伝統芸能が中止あるいは大幅な規模縮小に追い込まれる事態となり、当財団の公益目的事業である文化観光資源保護事業、普及啓発事業及び会員事業についても、これまでにない事業計画の変更を余儀なくされた。

文化観光資源保護事業の助成事業では、募集要項にもとづき事前相談、申請受付を行い、ほぼ例年通りの申請を受理したものの、文化観光資源保護事業のうち、修理事業以外の伝統行事、伝統芸能の執行事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ごく一部を除き中止や規模縮小となった。ただし多くの保存会等ではぎりぎりまで執行を模索し、準備を整えていたため、相応の出費を行っていることもあり、事業報告書の提出を受けて助成金を交付し、保護事業者の財政負担の軽減につとめた。

結果、令和2年度の文化観光資源保護事業の助成金額は例年に比してほぼ半減することとなった。

文化観光資源保護普及啓発事業では、ほぼ計画どおりの事業を実施し、併せてウェブ等において情報発信を行い、事業の啓発と京都の文化観光資源の紹介、普及につとめた。会員事業では、機関誌「会報」を定期発行したが、三大祭観覧をはじめとするほぼすべての招待や文化財特別鑑賞等の諸事業が中止となった。

法人運営については、公益財団法人として情報公開や公益法人制度関係法並びに定款に則った適正な運営につとめた。また、募金活動では、会報を通じて会員及び広い市民層に対し更なる支援、協力の呼びかけを行った。

個別事業の詳細は、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業1）

1. 助成事業

（1）対象事業

令和2年度に実施された下記の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当した事業

本年度は新型コロナウイルス感染症対策により大半の伝統行事・芸能が中止あるいは大幅に縮小されたことにより助成額も予定より減額することとなった。

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物、美術工芸品及び史跡、名勝、天然記念物の保全を行う各事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成、後継者の養成、衣装・用具、収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院、神社等の環境保全、文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修、収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業

（2）申請の応募，受付

ウェブサイト等で申請の応募を行い、事前相談（4月1日～30日）及び申請書の受付（5月31日提出期限）を行った。

（3）専門委員会の開催、助成対象の選定

○日時 11月9日

○出席者 尼崎博正委員、高橋康夫委員、伊東史朗委員、奥平俊六委員、伊達仁美委員 以上5名

○決議事項 令和2年度文化観光資源保護事業助成対象の選定について

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備事業

(4) 助成金の交付決定、事業報告

専門委員会において、選定された45件について、11月9日付で、申請者に対し助成金交付内定通知を送付し、1月7日付けで総額3,448万円の助成額を決定(理事長決定)した。内訳は、以下のとおり。

また、申請者から保護事業報告書の提出(3月末期限)を求めた。

1) 文化財所有者、管理者の行う文化観光資源保護事業に対する助成

10件 助成金 534万円

(内訳)

○ 建造物

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
圓光寺(東山区)	茶室修理事業	479	70	70	
知恩院(東山区)	大方丈建具修理事業	72	24	24	
安祥寺(山科区)	権現社修理事業	1,210	70	70	
萱尾神社(伏見区)	末社修理事業	253	70	70	
妙教寺(伏見区)	本殿修理事業	1,925	70	70	
恋塚寺(伏見区)	山門修理事業	106	35	35	

○ 美術工芸品

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
清和院(上京区)	不動明王及両脇侍修理事業	15	5	5	
極楽寺(左京区)	毘沙門天立像修理事業	274	70	70	
泉涌寺(東山区)	羅漢像修理事業	309	70	70	
輪違屋(下京区)	屏風修理事業	152	50	50	

小計	10件	4,795	534	534	
----	-----	-------	-----	-----	--

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

34件 助成金 2,660万円

(内訳)

○伝統行事、伝統芸能の保存に対する助成 2件 606万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
(公財)祇園祭山鉾連合会	祇園祭山鉾等修理事業	690	226	226	
京都五山送り火連合会	各山火床等整備事業	1,651	380	380	
小計	2件	2,341	606	606	

○伝統行事、伝統芸能の執行・公開に対する助成 32件 2,054万円

(伝統行事 14件 1,919万円)

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	695	235	235	行列中止、衣装等の修理等実施
祇園祭協賛会	祇園祭山鉾巡行 "	3,840	1,025	1025	山鉾巡行中止、榭による徒歩巡行を実施
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火点火 "	1,490	455	455	大幅に点火縮小して実施
時代祭協賛会	時代祭行列 "	155	49	49	行列中止、装具の保全点検を実施
嵯峨お松明保存会	嵯峨お松明行事 "	162	20	12	規模縮小
花脊松上げ保存会	花脊松上げ "	120	25	5	中止、トログ場の整備
広河原松上げ保存会	広河原松上げ "	200	25	13	中止、トログ場の整備、資材の調達
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げ "	70	20	0	中止
小塩上げ松保存会	小塩上げ松 "	13	5	0	中止
烏相撲保存会重陽社	烏相撲 "	79	10	0	中止
西之京瑞饋神輿保存会	西之京瑞饋祭 "	350	25	25	巡行は中止したが、神輿飾等は実施
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供 "	18	6	0	中止
日野裸踊保存会	日野裸踊 "	22	6	0	中止

鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭 〃	919	200	100	中止。用具類・衣装の修理
小計		8,133	2,106	1,919	

(伝統芸能 18件 135万円)

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	330	20	7	限定公開
壬生大念仏講	壬生狂言 〃	148	15	10	限定公開
神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑狂言 〃	54	15	8	舞台の修理を行う
千本ゑんま堂大念 仏狂言保存会	千本ゑんま堂狂言 〃	55	15	8	限定公開
嵯峨大念仏狂言保存会	嵯峨狂言 〃	70	15	10	限定公開
久世六斎保存会	久世六斎 〃	52	15	8	限定公開
京都中堂寺六斎会	中堂寺六斎 〃	55	15	8	限定公開
梅津六斎保存会	梅津六斎 〃	65	15	8	限定公開
小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎 〃	77	15	10	限定公開
千本六斎会	千本六斎 〃	46	15	13	Webにより行事を配信
壬生六斎念仏講中	壬生六斎 〃	55	15	10	限定公開
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎 〃	23	7	0	限定公開
西方寺六斎念仏保存会	西方寺六斎 〃	50	10	8	非公開により通常実施
上鳥羽橋上鉦講中	上鳥羽六斎 〃	31	10	5	限定公開
久多花笠踊保存会	久多花笠踊 〃	88	25	0	中止
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊 〃	198	20	12	灯籠飾を行い練習等を公開
松ヶ崎題目踊保存会	松ヶ崎題目踊 〃	55	10	5	材料の新調
番匠保存会	番匠儀式 〃	32	10	5	音頭の習熟練習
小計		1,484	262	135	

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

1 件 助成金 254 万円

内訳

単位：万円

保護事業者	事業内容	予定事業費	申請額	助成額	備考
(公財)京都古文化保存協会	文化財周辺松喰虫等駆除事業	763	254	254	
小計		763	254	254	

2. 文化観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

- (1) 当年度助成申請のあった文化観光資源保護事業等の現地調査及び資料収集、写真記録を行い、事務局において調査報告書を作成し専門委員会に文化観光資源保護事業選定資料として提出した。また、各修理状況等の事業内容をデータ化して、記録保存し今後の保護、伝承のための資料として供することとした。
- (2) 京都市域の伝統行事、伝統芸能の公開時の記録及び文化財指定を受けていない文化観光資源について、資料収集や写真記録を行い、今後の保存・保護を図るうえでの資料として活用することとした。
- (3) 文化財保護関係機関等との連絡協議

文化財保護関係機関で構成する文化財保護連絡協議会、文化財防災対策連絡会に参加し、京都の文化観光資源保護に関する情報の交換や収集等を行い実態把握につとめ、各機関と協調して事業の効果的な取り組みについて、本年度は書面により検討した。

また、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の四大大行事の各協賛会等の会議に参画し、本年度の事業運営について協議した。

1) 文化財防災対策連絡会（今年度事務局 京都市消防局）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面会議となる。

開催日：第1回 7月6日（書面会議） 第2回 12月24日（書面会議）

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文化政策室、同府民生活部災害対策課、同警察本部生活安全部生活安全企画課、同警備第一課、京都市消防局予防部予防課、同都市計画局都市景観部景観政策課、同文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、公益財団法人京都文化財団、公益財団法人京都古文化保存協会、京都大阪森林管理事務所、当財団の12者で構成し、文化財の防災等

に関する情報交換を行った。

2) 令和2年度年度文化財保護連絡協議会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文化政策室、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、同消防局予防部、公益財団法人京都古文化保存協会、公益財団法人京都文化財団、当財団の7者で構成し、例年、情報交換等を行う。

また、令和2年度文化財の保護に関する巡回よろず相談を共同で実施し、相談者に対し当財団の助成事業について説明を行った。

実施日：10月29日 開催場所：京都文化博物館 別館2階講義室

3) 四大行事（葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭）協賛会並びに総合打ち合わせ会議

例年、円滑な行事の執行に向けて、各関係団体で構成する協賛会並びに総合打ち合わせ会議に加わり、協議を行っているが、令和2年度の四大行事のすべてが中止あるいは大幅な規模縮小となった。

II. 文化観光資源保護普及啓発事業（公益目的事業2）

1. 文化観光資源公開事業の実施

京都の文化財や観光資源の愛護思想の普及啓発につとめることを目的に実施している。当年度は、下記の文化財特別鑑賞及び公演事業を実施した。また、事業を通じて参加者に対し、当財団の事業活動への協力と支援を呼びかけた。

(1) 「京都市左京区久多一生活文化の継承」文化財講座

講師 伊達 仁美 京都芸術大学教授、当財団専門委員会委員

実施期間 11月27日

会場 京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）

参加者数 88名（一般・会員含む）

(2) 講演と鑑賞「京都の念仏狂言」

講師 山路 興造 京都市文化財保護審議会委員

記録映像 「嵯峨大念仏狂言」の上映

実演 嵯峨大念仏狂言（国指定重要無形民俗文化財）

出演 嵯峨大念仏狂言保存会

実施期間 2月20日

会場 京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）

参加者数 175名（一般・会員含む）

2. ウェブサイトによる発信事業

ホームページを通じて、京都の文化観光資源や実施事業、活動紹介、「会報」寄稿文などの情報を発信し、内容の充実と更新の頻度を上げ、京都の文化観光資源の保護や活動への協力と支援を広く呼びかけた。また、法人情報の公開を積極的に行った。

3. 伝統行事・伝統芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた下記の10名の方々を功労者として、伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき京都市長、理事長名にて表彰することとなり、表彰式が延期されていた令和元年度被表彰者11名と合わせて、表彰式を6月3日、令和3年度第2回通常理事会終了後に行う予定である。

〈令和2年度被表彰予定者（順不同・敬称略）〉

山口 敦(花脊松上げ保存会)	藤井 洋(千本ゑんま堂大念仏狂言保存会)
中川 登志子(嵯峨大念仏狂言保存会)	渡邊 泰彦(小山郷六斎念仏保存会)
梅原 勝博(千本六斎会)	北村 隆行(嵯峨野六斎念仏保存会)
山本 幸信(西方寺六斎念佛保存会)	常本 晴樹(久多花笠踊保存会)
岩崎 恭輔(公益財団法人松ヶ崎立正会)	西村 幹生(北白川伝統文化保存会)

4. 文化観光資源に関する事業の後援

文化観光資源の保護と活用を目的とする下記の事業を後援し、事業協力を行った。

(1) 「令和2年度ふるさと文化財の森 森がよみがえる日本の技術 2020 公開セミナー」の後援

10月24日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会

文化財保護に関わる専門技術の普及を目的に、実演、展示及び体験等が行われた。

(2) 第55回「京の冬の旅」の後援

1月1日～3月21日(4月11日まで延長) 主催：公益社団法人京都市観光協会

京都の冬季観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。

5. その他

各種報道機関に対し、当財団の実施事業のつど発表し、事業紹介と活動についての理解と支援を呼びかけた。

Ⅲ. 会員事業

1. 「会報」の発行

「会報」は、第128, 129, 130号の3号を各1,500部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者からの寄稿や事業活動などを詳しく掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、伝統行事・伝統芸能保存団体に送付した。

○「会報」の主な掲載内容は、以下のとおり。

No. (発行月)	主な目次
No.128 (2.8.1付)	特集 京都の文化遺産の保存と継承(4) 「伏見の酒造用具」伊達仁美(京都造形芸術大学教授、当財団専門委員会委員)、設立50周年事業「都の賑わい 祭—神人和楽のまつり 祇園祭—」、令和元年度文化観光資源保護助成事業「修復された文化遺産」、保護財団の活動
No.129 (2.12.1付)	寄稿「京都の文化遺産を守り継ぐために 京都五山の送り火の保存と継承」長谷川英文(京都五山送り火連合会会長、NPO法人大文字保存会会長)、保護財団の活動
No.130 (3.3.1付)	特集 伝統建築工匠の技の保存と継承—世界無形遺産登録の技術—「建具製作」技術その① 鶴岡典慶(京都女子大学教授)、保護財団の活動

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業への招待、刊行物の案内

会員規程に定める会員を対象とした以下の会員事業を計画し、文化観光資源保護普及啓発事業に招待等を行った(一部中止)。

○京の三大祭観覧招待

会員招待事業では、新型コロナウイルス感染症対策により葵祭行列、祇園祭山鉾巡行、時代祭行列の『三大祭』が中止となったため観覧招待も行えなかった。

○「七宝・花鳥風月の世界『並河靖之七宝記念館』学芸員によるギャラリートークと鑑賞」 新型コロナウイルス感染症対策により期間中の自由見学とした。

実施時期 4月24日(金)～7月19日(日) 申込者数 139名

○賀茂別雷神社「賀茂競馬足汰(あしぞろえ)式」見学 ※中止

○京都古文化保存協会主催「令和2年度京都非公開文化財特別公開」招待

実施期間 9月1日～12月13日 申込者数 225名

○京都市観光協会主催「第55回京の冬の旅 非公開文化財特別公開」

実施期間 1月1日～3月21日(4月11日まで延長) 申込者数 150名

- 京都五山送り火記念「扇子」を申込希望者に進呈 申込者数 125名
- 財団設立50周年記念「オリジナル日本手ぬぐい」を進呈 申込者数 123名

3. 寄附者の顕彰及び会員登録状況

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈要綱に基づき、1名の高額寄附者に対して理事長名にて感謝状を贈呈することとし、その贈呈式を6月3日、令和3年度第2回通常理事会終了後に行う予定である。

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者（敬称略）

（個人の部）中村 範夫

また、新たな会員の拡充につとめるため、実施事業において活動案内パンフレットを設置し、協力の呼びかけを行った。

○会員登録状況（令和3年3月31日現在）

会員区分	法人	個人
特別会員	161	205
普通会員	4	171
賛助会員	7	64
計	172	440

注）平成24年度より新会員規程による会員区分に基づいている。

IV. 法人運営

1. 募金活動

（1）募金状況

事業活動の基盤強化と市民募金運動の推進として、実施事業を通じて個人寄附の呼びかけを行うとともに、会員に対し追加寄附の協力を呼びかけた。

寄附状況

- ・一般寄附金 1,809,000円
- ・特別寄附金 6,251,000円

京都市文化観光資源保護基金令和2年度末残高

2,286,457,218円

2. 会議開催状況

(1) 理事会

第1回みなし理事会の決議内容について（6月4日開催）

※ 第1回通常理事会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、みなし理事会となった。

- 議案
- (1) 令和2年度常勤理事の役員報酬の承認について
 - (2) 令和元年度事業報告の承認について
 - (3) 令和元年度計算書類の承認について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 提案書に対し、理事13名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第2回みなし理事会の決議内容について（7月1日付開催）

- 議案
- (1) 顧問の就任の件について
 - (2) 業務執行理事・専務理事選任の件について

出席等 提案書に対し、理事12名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第3回みなし理事会の決議内容について（10月8日付開催）

議案 理事選任の件について

出席等 提案書に対し、理事12名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第4回みなし理事会の決議内容について（2月9日付開催）

※ 第4回通常理事会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、みなし理事会となった。

- 議案
- (1) 任期満了に伴う顧問の改選について
 - (2) 令和3年度事業計画並びに収支予算（案）、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について
 - (3) 寄附金に係る関係規程等の一部改定について
 - (4) 資産運用規程の一部改定及び令和3年度資産運用方針について
 - (5) 事務局職員に係る規程等の一部改定について

報告事項 (1) 令和2年度文化観光資源の所有者、管理者等に対する助成金の交付決定について
(2) 職務執行状況等の報告について
(3) 京都市文化観光資源保護基金取崩に係る整理について
出席等 提案書に対し、理事13名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた

(2) 評議員会

第1回みなし評議員会の決議内容について(5月20日開催)

議案 理事並びに評議員選任について

出席等 提案書に対し、評議員22名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第2回みなし評議員会の決議内容について(6月19日開催)

※ 第2回定時評議員会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、みなし評議員会となった。

議題 (1) 理事並びに評議員選任について

(2) 令和2年度常勤理事の役員報酬の承認について

(3) 令和元年度事業報告の承認について

(4) 令和元年度計算書類の承認について

報告事項 職務執行状況等の報告について

出席等 提案書に対し、評議員25名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第3回みなし評議員会の決議内容について(10月16日付開催)

議案 理事選任の件について

出席等 提案書に対し、評議員25名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

(3) 監事会 5月18日

議案 平成31年4月1日から令和2年3月31日までの業務及び会計一件

出席 監事2名及び専務理事、事務局職員2名

監査意見 (1) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているも

- のと認める。
- (2) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

3. 役員の変動

(1) 第1回みなし評議員会による承認（5月20日付）

就任	理事	平山 賀一	京都市会文化環境委員会委員長
	理事	山内 康敬	株式会社京都新聞社代表取締役社長
	理事	小林 薫	株式会社三菱UFJ銀行執行役員京都支店長
	評議員	石原 秀樹	宮内庁京都事務所長
	評議員	西村 健	公益社団法人京都市観光協会専務理事
退任	評議員	小林 泰文	三菱UFJ信託銀行株式会社執行役員京都支店長
	理事	湯浅 光彦	前京都市会文化環境委員会委員長
	理事	永島 宣彦	前株式会社京都新聞社相談役
	理事	川井 仁	前株式会社三菱UFJ銀行執行役員京都支店長
	評議員	詫間 直樹	前宮内庁京都事務所長
	評議員	高畑 重勝	前公益社団法人京都市観光協会専務理事
	評議員	鍋岡 正俊	前三菱UFJ信託銀行株式会社執行役員京都支店長

(2) 第2回みなし評議員会による承認（6月19日付）

就任	理事	松本和加子	前京都市北区長
	評議員	西脇 悦子	京都市地域女性連合会相談役
退任	理事	北村 康二	当財団前専務理事
	理事	佐々木隆之	西日本旅客鉄道株式会社相談役（逝去）
	評議員	奥田末子	京都市地域女性連合会相談役

(3) 第2回みなし理事会による承認（7月1日付）

就任	顧問	塚本 能交	京都商工会議所会頭
	専務理事	松本和加子	
辞任	顧問	立石 善雄	前京都商工会議所会頭
	専務理事	北村 康二	

(4) 第3回みなし評議員会による承認（10月16日付）

就任	理事	久保田 譲	公益社団法人日本観光協会理事長
----	----	-------	-----------------

辞任 理事 久保 成人 前公益社団法人日本観光協会理事長

(5) 第4回みなし理事会による承認(2月9日付)

任期満了に伴う顧問の選任

就任	顧問	山本 恵一	京都市会議長	再任
	顧問	西脇 隆俊	京都府知事	再任
	顧問	中西 宏明	日本経済団体連合会会長	再任
	顧問	塚本 能交	京都商工会議所会頭	再任
	顧問	尾崎 裕	大阪商工会議所会頭	再任
	顧問	家次 恒	神戸商工会議所会頭	再任
	顧問	千 玄 室	茶道裏千家大宗匠	再任

4. 登記事項

理事並びに評議員の変更登記

理事	佐々木隆之	9月8日(死亡登記)
理事	永島宜彦、川井 仁、北村康二、湯浅光彦	9月8日(辞任登記)
	平山賀一、山内康敬、小林 薫、松本和加子	9月8日(就任登記)
	久保成人	11月5日(辞任登記)
	久保田譲	11月5日(就任登記)
評議員	奥田末子、宅間直樹、鍋岡正俊、高畑重勝	9月8日(辞任登記)
評議員	石原秀樹、西村 建、小林泰文、西脇悦子	9月8日(就任登記)

5. 行政庁への届出・提出事項

事業報告書等に係る提出	6月25日付	提出
理事・評議員変更の届出	9月23日付	〃
理事変更の届出	11月20日付	〃
令和3年度事業計画書等に係る提出書	3月5日付	〃